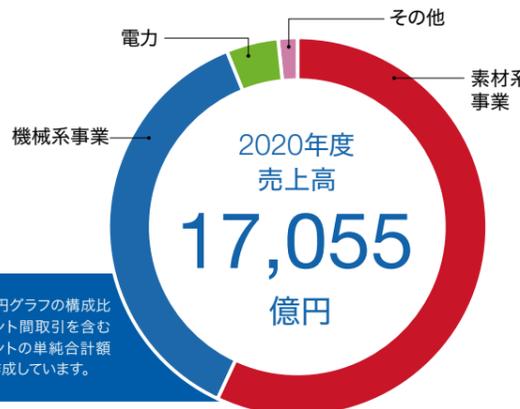


# 創業115年

## KOBELCOグループの歴史

神戸製鋼所は、1905年に合名会社鈴木商店が、神戸・脇浜において小林清一郎氏の経営する小林製鋼所を買収し、神戸製鋼所と改称したことを発祥としています。その後、1911年に鈴木商店から分離し、神戸市脇浜町に「株式会社神戸製鋼所」として設立しました。



KOBELCOグループは、鉄鋼アルミ、素形材、溶接、機械、エンジニアリング、建設機械、電力など幅広い事業分野で培った知見や技術力をもとに、新たな価値を創造し、お客様や社会が抱える課題の解決に貢献していきます。

### 素材系

1905 鋳鍛鋼事業スタート  
1916 鋼材事業スタート  
1917 銅事業スタート  
1937 アルミ事業スタート

1940 溶接事業スタート  
1955 チタン事業スタート  
1959 鋁鋼一貫体制の確立

1968 タイに製造拠点開設  
1970 加古川製鉄所完成  
1979 溶接ロボットARCMAN™開発

2006 中国自動車用特殊鋼線材加工拠点稼働開始  
米国自動車サスペンション用アルミ鍛造工場稼働開始

2014 中国自動車用冷延ハイテンの製造・販売拠点を設立  
2016 天津アルミパネル工場稼働自動車向けアルミパネル材(日系企業初)

2017 加古川製鉄所への上工程集約

2018 米国アルミ押出加工品の製造・販売会社稼働開始  
2020 素材系事業の組織改編

### 21のコア技術

素材系分野で貢献するコア技術

- 石炭転換・利用プロセス技術
- 金属の溶解・溶接技術
- 金属組織制御技術
- 金属表面制御技術
- 金属加工プロセス技術
- 金属中間物の制御技術
- 金属表面制御技術
- 物理分析解析技術
- 磁気制御技術
- 電子材料機能発現技術
- 構造物の変形破壊特性の評価技術

### 機械系

1914 機械事業スタート  
1926 エンジニアリング事業スタート  
1930 建設機械事業スタート

1962 海外プラント事業スタート  
1975 新交通システム  
1983 米国Midrex社買収

2004 中国に汎用圧縮機の製造・販売拠点を設立  
2006 米国に非汎用圧縮機の製造・販売拠点を設立

2014 機械事業開始100周年  
2017 スウェーデンQuintus社買収IP装置の世界トップメーカー

### 機械系分野で貢献するコア技術

- 機械の振動・音・動的特性の制御技術
- 熱・流体制御技術
- 金属の溶解・溶接技術
- 金属表面制御技術
- 磁気制御技術
- 溶接メカニズムモデリング技術
- 吸着・分離技術
- 金属加工プロセス技術
- 還元鉄製造技術
- 電気制御技術

### 電力

1996 電力卸供給事業(IPP)参入  
2002 神戸発電所 営業運転を開始  
2016 電力事業部門スタート  
2019 真岡発電所 営業運転を開始

### 電力分野で貢献するコア技術

- 石炭転換・利用プロセス技術
- 熱・流体制御技術
- 吸着・分離技術
- 金属表面制御技術
- 金属組織制御技術

### 全社

1905 創立  
1937 株式上場  
1960 ニューヨーク事務所開設  
1979 国際統一商標として「KOBELCO」ブランド制定  
1988 米国統括会社設立  
1995 阪神・淡路大震災被災被災後2ヵ月半で高炉を再稼働

2000 「企業倫理綱領」制定  
2005 創立100周年  
2006 「企業理念」策定

2011 中国統括会社設立  
2016 中長期経営ビジョン「KOBELCO VISION "G+"」を策定

2017 「Next100プロジェクト」始動  
2019 欧州地域統括会社設立  
2020 「グループ企業理念」制定  
2021 「KOBELCOグループ中期経営計画(2021~2023年度)」を公表

### 3つの分野のものづくりを支えるコア技術

- 特殊条件下の計測技術
- プロセス制御技術
- サービス化技術
- OR (オペレーションズ・リサーチ) 応用技術
- ICT (情報・コミュニケーション技術) 応用技術

# 価値創造プロセス 社会の思いに応える

KOBELCOグループは、新たに制定したグループ企業理念に基づくサステナビリティ経営フレームワークのもと、技術・製品・サービスの提供を通じた新たな価値創造による社会課題解決に貢献していくとともに、企業に求められるさまざまな社会責任を果たし、さらなる企業価値の向上を図ります。

## グループ企業理念

### インプット

#### 主要な経営資本 (2020年度)

##### 財務資本

連結売上高 1兆7,055億円  
株主資本 7,197億円  
有利子負債 7,857億円  
(プロジェクトファイナンスを除く)

##### 人的資本

従業員数(連結) 40,517名

##### 製造資本

有形固定資産 1兆786億円  
減価償却費 1,008億円

##### 知的資本

21のコア技術  
研究開発費 310億円

##### 社会・関係資本

ステークホルダーとの  
コミュニケーション

##### 自然資本

2050年カーボンニュートラルへの挑戦  
CO<sub>2</sub>排出量15.3百万t  
CO<sub>2</sub>排出削減貢献量40.9百万t  
水のリサイクル率96%  
総エネルギー使用量182PJ (1PJ=10<sup>15</sup>J)

#### 原材料・部品調達

##### 素材系事業 →P.52

鉄鉱石  
石炭  
アルミ地金  
スポンジチタン  
その他副資材  
各種製造設備・補修部品等

##### 機械系事業 →P.56

部品  
機器  
素材  
コンポーネント  
各種製造設備・補修部品等

##### 電力事業 →P.60

石炭  
天然ガス  
発電機  
補修部品

##### 技術開発 →P.62

### アウトプット

#### ビジネスモデル

##### 素材 Materials



鉄鋼アルミ 素形材 溶接

##### 機械 Machinery



機械 エンジン  
リング 建設機械

##### 電力 Electric Power



電力

#### お客様

##### Mobility

自動車、航空機  
造船、鉄道

##### Energy & Infrastructure

建築土木  
環境・エネルギー設備  
都市交通システム  
電力・ガス

##### Life

容器材  
電機・エレクトロニクス

### アウトカム

#### 提供価値

##### 社会的価値

グリーン  
社会への  
貢献

安全・安心な  
まちづくり・  
ものづくりへの  
貢献

人と技術で繋ぐ  
未来への  
ソリューション  
提供

##### 経済的価値

2023年度目標

ROIC  
5%以上

##### 企業価値

多様な人材の  
活躍推進

持続的成長を  
支える  
ガバナンスの追求

#### KOBELCOグループ中期経営計画 (2021~2023年度)

##### KOBELCOグループ 2030年度目標

①生産プロセスにおけるCO<sub>2</sub>削減  
削減量目標:30~40% (2013年度比)

②技術・製品・サービスによるCO<sub>2</sub>排出削減貢献  
貢献量目標:6,100万t

##### 経営基盤

①ダイバーシティ&インクルージョン  
→P.76

②働き方変革 →P.75 ③人材育成  
→P.74

①コンプライアンス・リスクマネジメント →P.98

②人権尊重 →P.75 ③安全衛生 →P.77

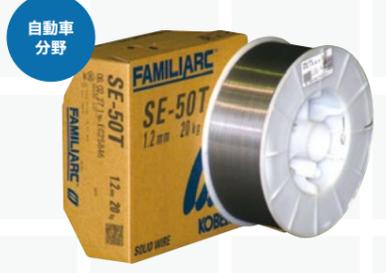
④品質保証 →P.102 ⑤コーポレートガバナンス →P.88

特長ある技術・製品・サービス

# 現在と未来を繋ぐものをつくる

KOBELCOグループは、1905年の創立から100年以上、お客様が必要とされる製品をお客様とともに作り、提供してきました。その結果、KOBELCOグループは7つのセグメントを中心に事業を展開していますが、KOBELCOグループの主要なお客様を分野別で見ると、「Mobility」「Energy & Infrastructure」「Life」の3つに分けることができます。

## グリーン 社会への 貢献



自動車  
分野

環境負荷を低減

### 銅めっきなしソリッドワイヤ (SEワイヤ)

当社独自のワイヤ表面処理技術により、製造での銅めっき処理を廃止し、地球環境に対する負荷を低減



自動車  
分野

世界シェア40%

### ゴム混練機

タイヤ・ゴム製品の製造に欠かせないゴム混練機。高生産性や省エネ性など最新の技術を有する



自動車  
分野

国内トップメーカー

### 鉄粉

複雑な形状の自動車用部品に使用されるほか、環境向け(汚染土壌・水の浄化用)製品なども製造



自動車  
分野

国内トップメーカー

### 自動車サスペンション用アルミ鍛造部品

従来の鉄製品と比較して40%以上の軽量化を実現



環境・エネルギー  
分野

業界最高のエネルギー効率

### ヒートポンプ

ビルや工場などの冷房・暖房に用いられる省エネルギー機器



造船分野

世界唯一の技術

### LNG運搬船向け圧縮機

LNG運搬船への燃料供給用圧縮機。CO<sub>2</sub>排出削減に大きく貢献



環境・エネルギー  
分野

世界で認められる高い信頼性

### LNG関連機器

液化して運ばれてきた天然ガス(LNG)を、ガス火力発電所や都市ガス設備で利用できるようにガス化する機器



環境・エネルギー  
分野

バイオマスの有効活用

### 木質バイオマス発電

利用されずに山地残材されていた未利用間伐材をバイオマス燃料としたボイラー発電



環境・エネルギー  
分野

バイオガスの有効活用

### 下水道バイオガス都市ガス導管注入設備

下水汚泥から発生するバイオガスを家庭用(都市)ガスと同等の品質に精製するための都市ガス化設備



環境・エネルギー  
分野

国内シェアトップクラス

### 汎用圧縮機「エメロード」

最高水準のスペックと省エネ性を誇るオイルフリー機種



環境・エネルギー  
分野

国内トップの実績

### 流動床式ガス化溶融炉

廃棄物処理分野において、CO<sub>2</sub>排出削減や埋立処分場の負荷低減などのニーズに応える

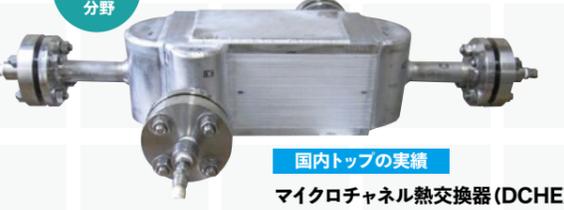


環境・エネルギー  
分野

世界トップの実績

### MIDREX®プロセス

直接還元製鉄のリーディングプロセスとして、世界で80基以上が稼働中



環境・エネルギー  
分野

国内トップの実績

### マイクロチャンネル熱交換器(DCHE)

主に水素ステーションや天然ガス関連設備などで使用されるコンパクトな熱交換器



環境・エネルギー  
分野

充実のラインアップ

### 水処理設備

上下水道処理設備、用水・排水処理設備、汚泥処理設備、純水・超純水製造設備など、水処理に関する幅広いニーズに対応

特長ある技術・製品・サービス

# なくてはならないものをつくる

建築土木  
分野



**建築鉄骨の生産性向上に貢献**  
**REGARC™搭載鉄骨溶接ロボット**  
溶接中のスパッタとヒュームを大幅に低減できる独自溶接プロセス「REGARC™」で、建築鉄骨溶接の品質と生産性を向上

建築土木  
分野



**高品質化と高能率化に貢献**  
**フラックス入りワイヤ**  
施工効率がよく、造船、建築鉄骨、橋梁など幅広い産業分野で適用される。スパッタとヒュームを低減し、職場環境を改善

建築土木  
分野



**ライフサイクルコストの低減に貢献**  
**高耐食めっき鋼板「KOBEMAG®」**  
優れた耐食性、耐塩付き性、加工性を有し、構造用から建築、電機、自動車分野など広く適用される。2020年2月に建築基準法に適合するものとして国土交通大臣の認定を取得

造船分野



**溶接作業時間が約2割減**  
**造船大組立ロボットシステム**  
ロボットによる自動溶接により、造船大組立工程における溶接施工の生産性向上やロボット化に貢献

自動車  
分野



**自動車用アルミ高強度合金**  
**自動車用アルミ押出・加工品**  
バンパー、骨格材採用により自動車軽量化に貢献

**高度な表面処理技術**  
**自動車用アルミパネル材**  
自動車エンジンフードなどへの使用により、自動車軽量化に貢献

自動車  
分野



建築土木  
分野



**高い輸送性能を実現**  
**テレスコピッククローラークレーン TK-Gシリーズ**

最新モデルは、ハードな基礎土木作業に耐える頑丈な構造、作業性に優れたコンパクトなレイアウト、高い吊り上げ能力はそのままに、輸送幅3m未満を実現

**安全・安心なまちづくり・ものづくりへの貢献**

- 7 エネルギー効率を向上して省エネを実現
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを

容器材  
分野



**国内シェア約70%**  
**アルミボトル缶材**  
アルミ缶材全体で国内約30%以上のシェア、複雑な加工を要求されるボトル缶材では約70%のトップシェア

自動車  
分野



**国内トップシェア**  
**自動車端子・コネクタ用銅合金**  
自動車の神経ともいわれるワイヤーハーネスのコネクタに使用。国内シェア約30%

**人と技術で繋ぐ未来へのソリューション提供**

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう



**効率性と安全性を兼ね備えたICT建機 情報化施工ブランド「ホルナビ」**  
運転席のモニタへの表示やアラームによって施工を大幅に効率化するナビゲートシステムや、簡単なレバー操作だけで複合的なシヨベルワークを再現するマシンコントロールシステムなど多彩なICT建機

都市交通  
システム  
分野



**地球にやさしいまちづくり**  
**都市交通システム**  
都市交通分野のシステムインテグレーションに強みを持ち、国内外で豊富な建設実績を誇る。ODA事業であるジャカルタ都市高速鉄道案件にも参画

鉄道分野



**国内トップシェア**  
**鉄道車両用アルミ材**  
鉄道車両の車体を形成する部材として使用される。国内のみならず海外の車両にも採用

建築土木  
分野



**鋼橋の長寿命化に寄与**  
**ロングライフ塗装用鋼板「エコビュー®」**  
優れた塗装耐食性で、高塩分環境でも塗装塗り替え周期の長期化を実現。ライフサイクルコストの低減にも貢献

自動車  
分野



**国内トップメーカー**  
**高張力鋼板（ハイテン）**  
より強度の高い「超ハイテン」の開発・製品化においてトップメーカー

航空機  
分野



**アジアでの主要供給メーカー**  
**航空機用ギアボックス**  
アルミ鍛造技術や解析技術、合金開発力を活かした航空機部品

電機・  
エレクトロ  
ニクス分野



**アジアで約15%のシェア**  
**半導体用リードフレーム材**  
独自の元素配合により強度・導電率・耐熱性を両立した銅合金板条を開発